

双日システムズ様とソフトバンクBBによる VMware ThinApp導入支援で OS移行コストの大幅削減を実現

Vol. 1



VMware ThinApp導入事例

短期間でWindows 7に移行 既存の独自システムを活用可能に

水登社様の課題

1938年の創業以来、発電設備用プロセス配管、トンネル用シールド掘削機後続台車、並びに建設機械用油圧配管などの製作を行っている水登社様は、製造業の命ともいえる独自の製造原価管理システムを運用していました。このシステムは、Windows XPの環境下、Microsoft Access 2000にて構築されていたため、Windows XPのサポート期間の終了に伴いWindows 7に移行する必要性がありました。ところが膨大なデータ移行には大きなコストと時間が必要になることが判明。旧来システムをそのまま活用するための手段を模索していました。

VMware ThinAppで先を見据えた Windows 7への移行を実現



株式会社水登社 管理部執行役員 平井 康介様

社内の基幹システムは、長く使用していかなければならないものだと思います。しかし、システムの変更が多いとオペレーターへの負担や、変更の度にシステム改修コストが発生します。今回、業務用PCをWindows XPからWindows 7に移行する検討をした時も、当社の製造原価管理システムがMicrosoft Access 2000で構築されているため、アプリケーションのバージョンアップやシステムの改修などで莫大なコストがかかる課題がありました。しかし、VMware ThinAppによるアプリケーションの仮想化で導入コスト自体が大幅に抑えられたので、製造設備や業務改善など先を見据えた投資を検討することができました。また、将来的なOSバージョンアップに対してもコストの心配はなくなりました。

株式会社水登社様の課題

創業以来、発電設備用プロセス配管、トンネル用シールド掘削機後続台車、並びに建設機械用油圧配管などの製作を行っている水登社様。小さなナットから大型の配管材料にいたるまで、約1,000アイテムにも上る部品や副資材、消耗品、さらに作業員の労務費を含め、製造業の命ともいえる製造原価管理システムを運用していました。このシステムは、Windows XPの環境下、Microsoft Access 2000にて構築されていたため、Windows XPのサポート期間の終了に伴い、Windows 7移行に際しての改修の必要性に迫られていたのです。ところが膨大なデータ移行には大きなコストと時間を要するため、旧来システムをそのまま活用すべく手段を模索していました。

業務に合わせてカスタマイズされた、独自の自社システムが陥りやすい課題

水登社様が使用していた製造原価管理システムは、同社の社員自らがMicrosoft Access 2000で構築した部品データベースを基に現在の形にまで発展してきました。その後、業務フローや製品点数の拡大に合わせてカスタマイズを繰り返してきた独自の自社システムでした。膨大なデータを積み上げ、ここまで手をかけて作り上げたシステムは企業にとって価値ある“資産”といえます。パッケージウェアへの置換えや、新システム導入なども検討しましたが、現場業務に従

事する社員たちに浸透しているこのシステムの活用を続けるべきと平井様は考えました。しかし、この製造原価管理システムをWindows 7の環境下で運用することは困難でした。テスト運用を行ったところ、帳票の合計欄が正しくないという致命的問題が発生したのです。他システムと連携する部分の多い製造原価管理システムを、Windows 7の環境下で使用し続けるためには、莫大な改修コストが必要になるという“課題”が発生したのです。

コストは1/10、導入期間は1/3で要望を実現。余力を生み出すVMware ThinApp

長い年月をかけて構築してきた自社独自システムは、OSの進化に追従する形で、その都度改修を行わざるを得ません。しかし、予期せず発生するコストをはじめ、システム切替期間における作業員の混乱やロスなど、頭を悩ませる問題が多数存在しています。Microsoft Access 2000を使用して製造原価管理システムを構築してきた水登社様もまた、同じような問題に直面。なるべくコストをかけず、短期間で新しいシステムへと移行できる方法論を模索していました。

そんな時、平井様が双日システムズ様から提案されたものがVMware ThinAppでした。VMware ThinAppが提供するソリューションは、低コストながら、同社が抱える課題をしっかりと解決してくれるものでした。実際に見積もりを取得すると、従来行う予定だったシステム改修との比較で予算の約10分の1ということが判明。改修の場合は3ヵ月以上要するといわれていた導入までの期間も約1ヵ月に短縮されるということで、採用の検討に入ることになりました。

OSのバージョンにとらわれず 自社独自システムを活用できます



株式会社水登社 本社エントランス

採用の決め手は“使いやすさ”

製造原価管理システムは、経理職やシステム管理者といった特定社員のみならず、工場の現場作業員を含め、全社員がオペレートする可能性があります。現場が混乱することなく速やかに水平展開することが望ましいため、インターフェイスや操作性に変化を生じさせないことは必須。ショートカットで起動していた旧システムとまったく違和感のないワンクリック起動により、スムーズな移行が可能となることが決め手となり、VMware ThinAppの採用に至りました。

双日システムズ様が導入を実施

VMware ThinAppの導入を実施したのは双日システムズ様でした。通常時はMicrosoft Office 2010が稼動する環境下でありながら、製造原価管理を使うときだけ、Microsoft Access 2000が動くことを可能にしたのです。製造原価管理システムは他システムと連携する部分が多く、難易度が非常に高いパッケージングでした。しかし、不具合事象に対する原因分析とチューニングを繰り返すことによって、パッケージングに成功。ノウハウを提供したソフトバンクBBとの技術協力関係が実った事例となりました。



製造原価管理システムで資材を管理

ソフトバンクBBだから提供できたMicrosoft Access 2000 のパッケージングノウハウ

VMware ThinAppによるアプリケーションの仮想化には、Windows OSやMicrosoft Officeをはじめとする、アプリケーション開発に関わる広い知識と経験に基づいたノウハウが必要となります。そのなかでもMicrosoft Access 2000

はソフトバンクBBが長年かけてパッケージング技術を確認してきたものでした。今回の件につきましては、国内唯一のVMware ThinAppの自営サポートを行う立場から、培ってきたノウハウのご提供という形で、ご支援させていただきました。

従来の操作性はそのままに自社独自システムをWindows 7へ移行

課題

自社独自システムが
Microsoft Access 2010で動作不可

膨大なシステム改修費用

全社員がすぐに使えるリプレイス

継続的なシステムカスタマイズ

解決策

パッケージ EXE

ThinApp VOS

Microsoft Access 2000

仮想ファイル
システム

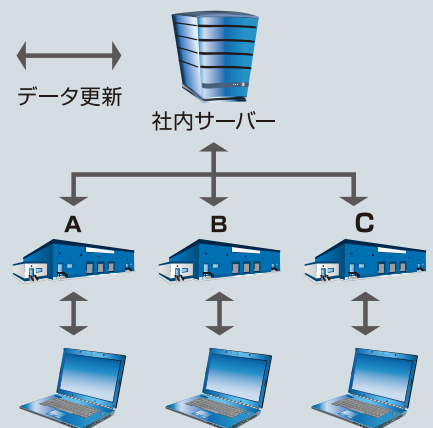
仮想
レジストリ

ファイルシステム

レジストリ

Windows 7

導入効果



誰もが今までどおりにシステムを使える

仮想化分野への取り組み

ソフトバンクBBは、VMware社の認定ディストリビューターとしてさまざまな仮想化ソリューションおよび関連サービスを、多くの認定パートナー企業様を通じてお客様に提供しています。ソフトバンクグループの主力事業である通信事業や、創業以来の流通事業が連携することで、お客様の課題解決を支援し、最適なソリューションをご提案します。

ソフトバンクBBならではの3つのポイント

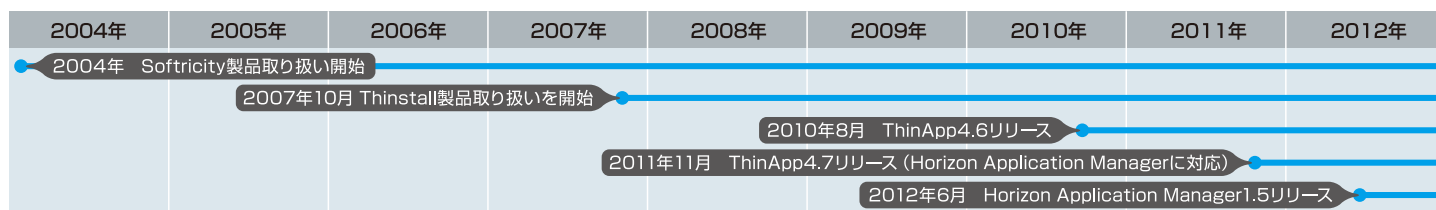
BB 仮想化分野におけるパートナーシップ

創業以来30年にわたるICTディストリビューション事業のノウハウを活かし、協業パートナー様と連携して、お客様のさまざまなニーズに対応してまいります。

BB スマートデバイスとの連携

当社は、ワークスタイルを変革する新しいデバイス=スマートデバイスの分野にいち早く参入しました。自社へ導入した実績をもとに、スマートデバイスとあわせて仮想デスクトップなどのEUCソリューションをワンストップでご提案します。

BB アプリケーション仮想化の先駆け



ソフトバンクBBでは、2004年のSoftricity製品取り扱い開始を始めとして、他社に先駆けてアプリケーションの仮想化に取り組んでまいりました。

導入提案・各種ご相談に関して

BB 導入提案に関するご相談

仮想化に関するご導入相談の専用窓口をご用意しています。VMware社の認定を受けた技術者や製品営業が、VMware認定パートナーと連携し、お客様に最適なソリューションをご提案します。

BB 各種情報配信やイベントのご案内

仮想化技術に関する情報や各種イベントのご案内をさせていただきます。

BB VMware製品のサービス利用（サービスプロバイダ様向け）

VMwareのテクノロジーをベースとした仮想マシンのホスティングなどを展開される場合、通常販売されているライセンスとは異なり、専用ライセンス(VSPP)をご利用いただく必要がございます。弊社では、同ライセンスのご提案から販売まで直接サービスプロバイダ様に提供させていただきます。

VMwareソリューション紹介サイト

<http://cas.softbank.jp/services/vmware/>

XPマイグレーションセンター

<http://cas.softbank.jp/services/xpm/index.html>

vExpert Award 2013を受賞しました

VMware社が2013年5月30日に発表した「vExpert Award 2013」において、ソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括に所属する社員5名が、同アワードを受賞したことをお知らせいたします。全世界で578名、日本国内で24名が受賞し、そのうち5名の受賞は一企業に所属する受賞者の数としては国内最多です。vExpert AwardはVMwareに関する啓蒙活動や支援活動に年間を通して貢献した個人を表彰するものです。ソフトバンクBB株式会社 コマース&サービス統括に所属する5名の受賞者は、VMware社を中心とした当社の仮想化ビジネスにおいて、プリセールスやポストセールスで、ユーザー様や販売パートナー様に対して、技術的な支援を行っています。それぞれの業務における支援活動や個々の啓蒙活動が評価され、今回の受賞に至りました。今回の受賞に慢心することなく、より高度なサービスのご提供に向け、社員一同精進していく所存です。今後ともソフトバンクBB株式会社コマース&サービス統括にご支援賜りますよう、お願いいたします。

SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品・サービス名などは、各社の登録商標または商標です。

VMwareは、米国およびその他の国におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。Microsoft, Encarta, MSN, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

【販売パートナー】

【国内一次店：認定ディストリビューター】

ソフトバンク BB 株式会社
コマース&サービス本部
仮想化ビジネス推進部

Email : SBBMB-sbb_vmware@g.softbank.co.jp

